

建築情報学会の活動と BIM関連人材育成

慶應義塾大学SFC ／ 建築情報学会
池田靖史



ARCHITECTURAL
INFORMATICS
SOCIETY

建築情報学会設立の経緯

建築情報学会は現代社会における情報技術の発達と浸透による根源的な影響を踏まえ、人類が人工的に環境を創造し構築し活用し続ける意識としての「建築」という概念を情報学的視点から再構成することを共通の出発点にした集まりです。これからの世界に不可欠な情報理論と建築・都市の関係に関する知の共有と体系化のために、開かれた議論、情報の蓄積と発信、人材育成の支援を通じて社会に貢献することを使命にしています。

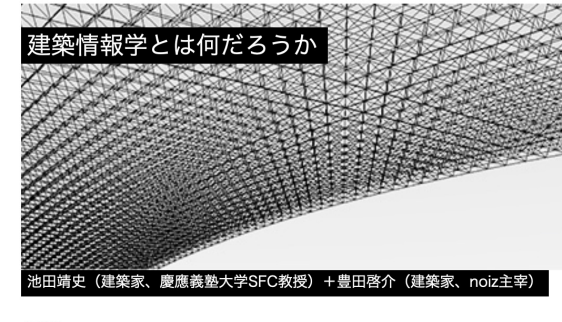


10+1 website

201712

特集 建築情報学へ

- 建築情報学とは何だろうか
- 情報化による「建築評価」の可能性
- MISC. DATA——情報以前の「雑多な質」を扱うために
- これからの建築家に求められるもの
- 情報応用造形学のスズメ——情報技術を利用したジオメトリ操作
- BIMの定着に必要なこと



RUN BY LIXIL出版 | LIXIL

総目次 2000.4-
GENERAL CONTENTS →

人物索引 最終更新日-2013.6.21
NAME INDEX →

PHOTO ARCHIVES



2019年度日本建築学会大会[北陸] 記念シンポジウム

次の時代の建築学に向けて
情報技術文明の視野と「建築情報学」の視点から

日時 9月5日(木)14:00~17:00 (13:30受付・開場)
会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス(6号館6・335室(多目的ホール))

「建築情報学」の視点

「建築」の定義や存在価値自体を見直す
広範囲かつ根源的な影響は実空間の体験や価値までも
置き換え、「情報学」との関係捉える事なしに次の
時代の建築の存在価値は見えない。

「情報学」を介した領域連携を促進する
既存の枠には拘らないオープンな議論を促進し、情報
学を広い領域連携の共通基盤にしつつ、建築の産業や
経済における既存の蓄積を活用した新しい社会貢献を
目指すべきである。

「学問」としての体系化により人材の育成
と協働を活性化する
情報学と建築学の双方を十分に理解し、高い協働性と
総合性を持つ新しい職能を目指し、知識を体系化して、
その育成に役立てる

**建築分野における情報技術の利用方法のみを問題に
するものではありません**

急速に拡大と進化を続ける情報処理と通信の級数的な高速化が産
業・生活そして社会にもたらす大きな影響を背景に、建築はその
位置付けを深く根源的に再考されつつあると考えます。

実体のある建築や都市空間だけを扱うものではありません

情報学な視点から実空間と情報空間を横断的・融合的に捉え、共
通の情報技術的な基盤を持つ様々な科学的知見や産業的な発展と
の連携を促進することが必要であると考えます。

特定の対象に集中した専門分野ではありません

人間の創造力と構築技術に関する既存の知識体系・価値体系の再
構成を意識しつつ、あらゆる産業や経済、文化や社会の発展に繋
がる総合的な学問としての可能性があると考えます。

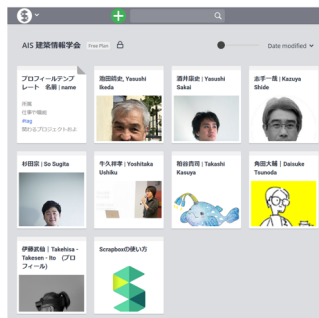


ARCHITECTURAL
INFORMATICS
SOCIETY

建築情報学会の活動と組織

独自調査とアンケート
による動向報告

企画シンポ
ジウムの開催



人材マッチングイベ
ント/ジョブ・フェア開催
(人材・仕事WG)



会員交流 オンライン
イベントの開催

調査研究委員会
(豊田啓介委員長)

学術活動委員会
(志手一哉委員長)

建築情報学会WEB

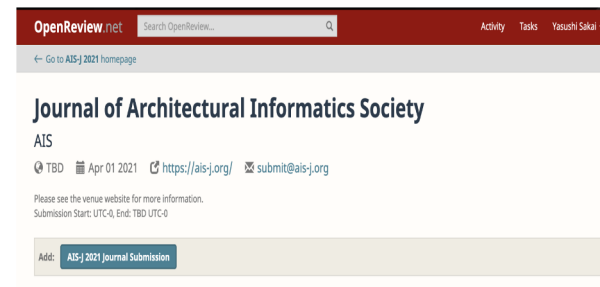
交流活動委員会
(角田大輔委員長)

育成活動委員会
(杉田宗委員長)

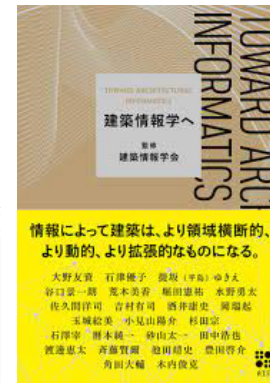


外部展開活動
YouTubeチャンネル

オンライン・ジャーナルの発行と論文査読



建築情報学系学生論文作品
講評と表彰
[建築情報Review]開催



ビデオ学習教材のオンライン提供
オンラインワークショップ企画運営

建築情報学会の現状

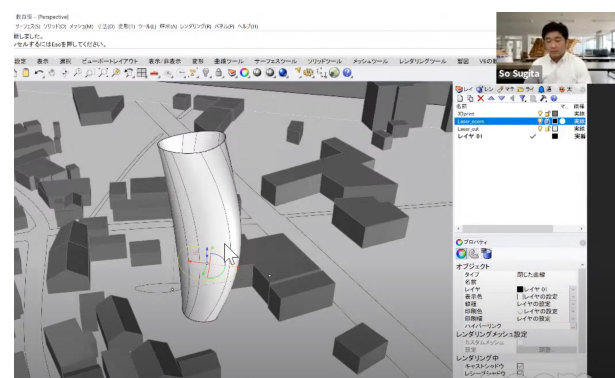
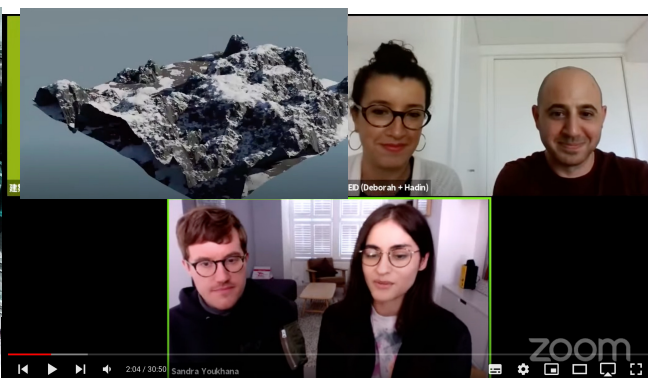
現在会員数 509名

学生会員	有料：86名
一般会員	有料：156名
賛助会員	有料：268名

Syntegrate



現在賛助会員企業数 42社



企画シンポジウム

「建築・都市情報データの社会的活用とその条件 -BEYOND BIM」

2021年8月19日開催
視聴者数211名
(会員：169名、非会員：42名)

YouTubeチャンネル

外部展開広報活動
(隔週木曜日21時)
登録者数 2 5 0 0 人
第34回まで終了 動画平均
再生回数1000回以上

スキルアップ・オンライン ンレクチャー・シリーズ

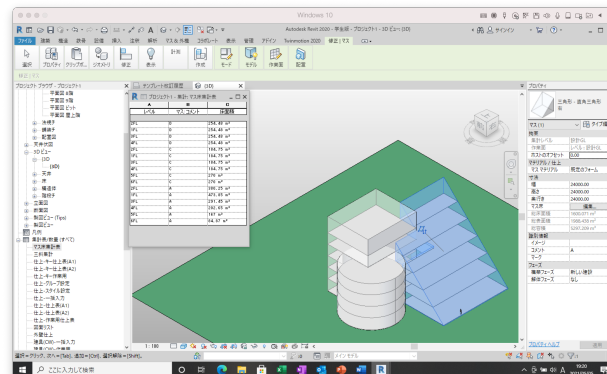
Session :
シーズン1 (6回) 終了
平均視聴回数
700~800回

Meetup :

会員交流オンラインイベント
ここまで計4回開催
メインセッション
ライトニングトーク
懇親会

日本建築学会 デジタル・グローバル建築教育 特別調査委員会との連携（大学教育モデル科目の提言）

- 初学者の建築基礎リテラシーとしてのBIMの活用（東京大学・造形第2）
- 建築士要件科目におけるBIM視点の導入（慶應大学SFC）
- 大学院生むけの総合的なデジタル・デザイン・設計演習科目でのBIM利用



3次元ー2次元変換の理解
建築性能の数値化の理解
建築要素のデータ構造化の理解
建築の基本的ワークフローの理解

- 建築環境制御論（BIM環境シミュレーション）キム・ジョンミン
- 建築技術論（BIMによる建築構法支援）渡辺健二
- 建築マネジメント論（BIMを中心にした建築施工管理）池田靖史
- 構造のデザイン（シミュレーションで学ぶ構造）藤田慎之輔
- 都市空間の構成（BIM視点の建築法規）関戸有里

BIMを用いた協同的グループ設計プロセスの体験
構造・環境・意匠のコミュニケーション方法の学習

